

つきたい力

複数ある資料の中から自分に必要な情報を選び取り、活用できる力

取組みの概要・ポイント

- * 調べ学習やレポートのための情報収集における、学校図書館資料とインターネット資料を併用した授業を実施した。
- * 図書やインターネットなどを活用する際の情報リテラシーや著作権に関する学習に取り組んだ。

具体的な取組みの内容「学校図書館を活用した授業づくり」「本に親しむ場づくり」

【学校図書館を活用した授業づくり】

ポイント① ICTの活用

図書館資料とインターネット資料を併用した授業を実施。

ポイント②

市立図書館及び市内の全学校図書館との連携

市立図書館や市内の小中学校の学校図書館と連携、一単元で100冊以上の図書館資料の準備をめざし、生徒たちが幅広く資料を閲覧できるように充実を図った。

ポイント③ 図書館資料のPDF化

数学や美術など、あまり多くの図書館資料のない教科に関しては、校内のICT担当と協力し、資料をPDF化し、タブレット端末にデータとして配付という形で資料閲覧ができるようにした。

ポイント④ 「情報カード」の利活用



情報カード
についての説明

図書館資料やインターネット資料から得た情報をそのまま転記するのではなく、必要とする部分のみ抜粋、図表で示す等、情報を整理していく力の育成を図った。

調べ学習の際、レポートに必ず参考文献の記載をするように周知し、単元の初めには、参考文献についての説明をSE担当より行った。



参考文献について
説明プリント

ICT利用の普及に伴い、メディアリテラシーや著作権に関する授業を技術科と協力して実施。



情報モラルに関するプリント

【本に親しむ場づくり】

【読書推進活動】

- ◎学校図書館ガイダンスの実施
- ◎朝読書(週3回)
- ◎オススメ図書紹介の掲示
- ◎毎月の図書だよりの発行
- ◎教職員によるオススメ図書の展示
- ◎委員会による読書推進イベント
 - *手作りしおりプレゼント
 - *ビブリオバトルの開催
 - *スタンプカードの実施
- ◎ブックカバーサービス(希望者のみ)



テーマを決めて、関連する書籍を別置。



朝読書にオススメの本を別置き、探しやすいように展示。

【委員会活動】

委員会で「みんなにオススメしたい一冊」を紹介する活動を実施。昼休みを利用した「ビブリオバトル」の実施や紹介文を作り、下足室前に掲示するなどのPRをおこなった。



取組みを通しての子どもの変容

取組み当初は、「自分で調べ、情報を集める」ことを「面倒だ」と捉えている生徒が多くいる状況だった。しかし、取組みを進めるうちに「楽しい」と感じ、情報収集に意欲的に取り組む生徒が増えていった。単元の振り返りでも「今はインターネット社会だけど、本も使うことで視野も広げられるし知識も深まっていいなと思った」など、前向きな言葉が多く並んだ。取組みを通し、教職員が多くを説明しなくても、生徒が自分で必要な情報を選び取り、活用できる力が培われていると感じられた。

本やインターネットなどで調べたことをもとに、自分の考えをまとめて書いたり、話したりしている

	4月	7月	12月
	32%	38%	39%